

おやま 町議会だより

2025年5月1日号



NO.
182



4月5日

春起こし前

トラクター安全講習

令和7年度一般会計・特別会計予算を可決

- ・各常任委員会 5
- ・賛否が分かれた議案 6
- ・代表・一般質問に12人が登壇 7
- ・令和6年度議会報告会 19
- ・第16回「わたしのベストスポット」 20



発行：静岡県駿東郡小山町議会

3月
定例会

千万円の予算を可決

特別会計を含めた総額は205億円（前年度比0.5%減）

番元気な町



歩みを止めることなく

令和7年第1回3月定例会が2月25日から3月18日までの22日間の会期で開かれました。

定例会では、令和7年度当初予算12件、令和6年度補正予算12件、条例の制定・改正15件、工事請負契約（変更）2件等の合計45議案が提出され、審議の結果、いずれも原案のとおり可決しました。

菅沼地域優良賃貸住宅整備



地域優良賃貸住宅整備事業：2,361万円



明倫地区の賑わい創出、定住促進等を生む住宅を整備

誓いの丘再整備



誓いの丘公園管理費：7,424万円

公園の眺望を活かすとともに来訪者の利便性向上のため、駐車場、眺望デッキ等を整備

特別会計・事業会計予算額（全て原案可決）

国民健康保険 18億6,700万円 前年度比 0.2%増	育英奨学資金 294万円 前年度比 21.2%減	後期高齢者医療 3億2,460万円 前年度比 9.7%増	土地取得 6万円 前年度比 916.7%増
介護保険 18億2,000万円 前年度比 1.6%減	宅地造成事業 1億8,551万円 前年度比 70.1%減	木質バイオマス発電事業 6,770万円 前年度比 9.1%減	小山PA周辺開発事業 1億5,125万円 前年度比 4.7%減
温泉供給事業 403万円 前年度比 56.4%増	水道事業 収益的支出 3億7,416万円 資本的支出 5億334万円	下水道事業 収益的支出 2億74万円 資本的支出 1億7,950万円	

令和7年度予算の詳しい内容は「広報おやま 令和7年4月号」をご覧ください



令和7年度予算
前年度比
0.8%増

賛否分かれ

一般会計148億8

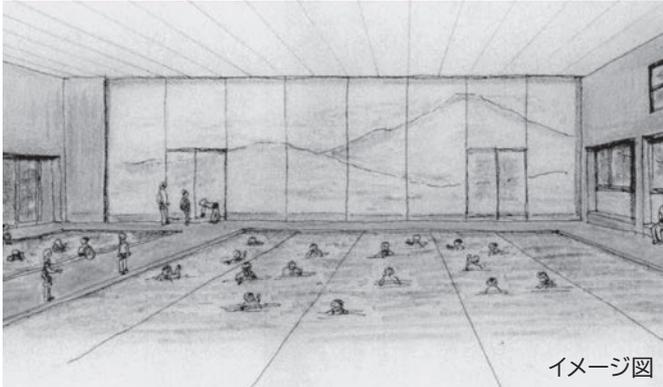
一般会計は平成31年度に次いで歴代2番目の予算規模!



静岡県で一

町の未来への投資の

温水プール設置



イメージ図

温水プール整備事業費：1億69万円



5つの小学校のプールを1つに整備し、維持管理の効率化を図るとともに町内のスポーツ環境の充実と町民の健康づくりを推進

英語教育強化

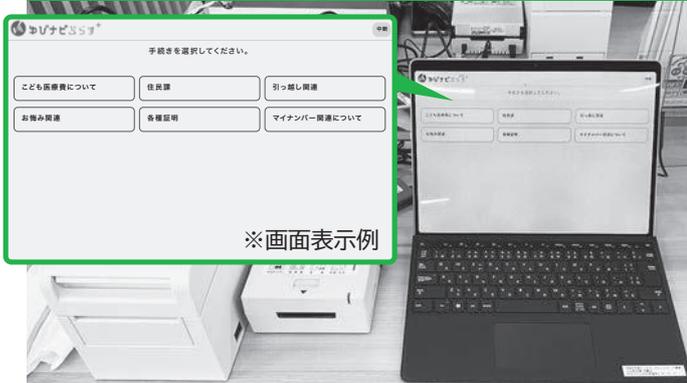


ALT派遣事業：7,473万円



国の補助金事業を活用して町内の全こども園及び全小学校へ外国人英語指導員を派遣

書かない窓口



※画面表示例

DX推進費：2,677万円

タブレット等を活用した申請書作成支援システムを導入

(株)まちづくり公社おやま



ふるさと振興事業費：5億1,100万円



笑顔あふれる「おやまの明日を創造する」をミッションとして、ふるさと納税を中心とした様々な事業に取り組む

ピックアップ

3月定例会



令和6年度一般会計 補正予算(第7号) 専決処分の報告

国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、エネルギー・食料品等の価格高騰対策として、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯へ給付金を支給する事業を実施するための補正予算。

令和6年度一般会計 補正予算(第8号)

給与改定に伴う人件費、国の補正に基づくもの、事業の実績や進捗により決算見込額を精査した結果による補正予算。既定の予算に6906

万3000円を追加し、総額を155億9517万4000円とし、継続費、繰越明許費、債務負担行為及び地方債の変更等をするもので、審議の結果、

賛成多数で可決。

令和7年度 一般会計予算

修正動議

発議者は、平野正紀議員、岩田治和議員、園田豊造議員、牧野恵一議員、白井光昭議員、石原和美議員の6名で、主な修正の内容は、温水プール整備事業の継続費の設定及び温水プール整備事業費1億69万円を削るもので、審議の結果、

賛成・反対が同数で

議長裁決により否決。

その後、原案について

賛成・反対が同数で

議長裁決により可決。

令和7年度 小山町木質バイオマス 発電事業特別会計予算

売電・売熱の事業収入と燃料費、維持管理及び点検に係る業務委託が主な内容で、予算の総額を6770万8000円とするもので、審議の結果、

賛成多数で可決。

反対討論

【園田豊造議員】

平成30年の稼働以来令和5年まで赤字続き、事業に不安定さがある。

【白井光昭議員】

事業の経営状況と将来的な継続性に重大な懸念を抱いている。

賛成討論

【米山千晴議員】

本町のゼロカーボンシティ実現のため、再生可能エネルギーの利用拡大に重要な施策であり、環境にやさしく、地球温暖

化に貢献するものである。

令和7年度

小山町SPA周辺 開発事業特別会計予算

第2期工区において、事業実施に必要な土木造成設計と土地の購入、物件・移転補償が主な内容で、予算の総額を1億5125万9000円とするもので、審議の結果、

賛成多数で可決。

反対討論

【牧野恵一議員】

公共性も低い事業なのに収入の大部分を一般会計からの繰り入れに依存している。

小山町自家用有償旅客 運送自動車条例の制定

令和7年度からの自家用有償旅客運送による運行に伴い、町が運賃を収受することになるため、必要な事項を定めるもので、審議の結果、

賛成多数で可決。

小山町国民健康保険税 条例の一部を改正する 条例

国民健康保険制度改革

により、県内の保険料水準の統一を目指す中で、静岡県国民健康保険運営方針に基づき、標準保険料率に向けて税率改定を行うもので、審議の結果、

賛成多数で可決。

小山町手数料条例の 一部を改正する条例

マイナンバーカードを利用した証明書等のコンビニ交付をより一層推進するため、コンビニ交付に係る手数料を100円減額するもので、審議の結果、

賛成多数で可決。

小山町民いこいの家 の設置及び管理に関する 条例の一部を改正する 条例

灯油や電気料等の物価高騰が続く中、施設の運営コストが増加している状況にあり、安定的な運営を確保し、利用者へのサービス向上を図るため、使用料の改定を行うもので、審議の結果、

賛成多数で可決。

建設工事に関する協定 (変更)の締結

〈第二東海自動車道横

浜名古屋線建設に係る町道3975号線新設及び町道3628号線の付替工事に関する工事細目協定(用沢工区) 地質調査等の結果により、設計・施工条件に変更が生じたことから、事業費を増額するもので、審議の結果、

全員賛成で可決。

〈第二東海自動車道横浜名古屋線(仮称)小山スマートインターチェンジに関する工事細目協定〉

小山PA周辺地区において想定される交通渋滞対策として、東京方面出入り料金所のゲートを1車線1ゲートから2車線2ゲートに増設することから、事業費を増額するもので、審議の結果、

全員賛成で可決。

常任委員会報告

総務建設委員会

委員長 米山 千晴

総務建設委員会に付託された、10議案について、3月10日に審査を行い、原案のとおり可決すべきものとなりました。主な内容は次のとおり。

Q 小山町自家用有償旅客運送自動車条例の制定について

A 静岡県タクシー協会が定められている運賃の8割としています。

Q 小山町民・御殿場市民・裾野市民と、その地域以外は、どのように確認するのか。

A はじめて利用される際に身分証明書で確認させていただきます、そこで会



減と温室効果ガスの吸収作用の保全及び強化に取り組むための計画を策定するものです。

Q バイオマス産業都市構想策定業務の内容は。

A 小山町から発生するバイオマス資源の状況、発生量を調査し、資源を再利用する可能性や経済効果、削減されるCO₂などを調査してまとめるものです。

**令和7年度
一般会計予算**

Q 地球温暖化対策実行計画の策定内容は。

A 町の事務事業に関し、温室効果ガスの排出量削減



円滑な交通を確保し、安全な暮らしを守る

委員会終了後に、町道1017号線道路路面擁壁補修工事箇所を視察しました。

文教厚生委員会

委員長 小林 千江子

文教厚生委員会に付託された、7議案について、3月12日に審査を行い、令和7年度一般会計予算は「賛成少数」で否決すべきものとし、その他6議案は、原案のとおり可決すべきものとなりました。主な内容は次のとおり。

**令和7年度
一般会計予算**

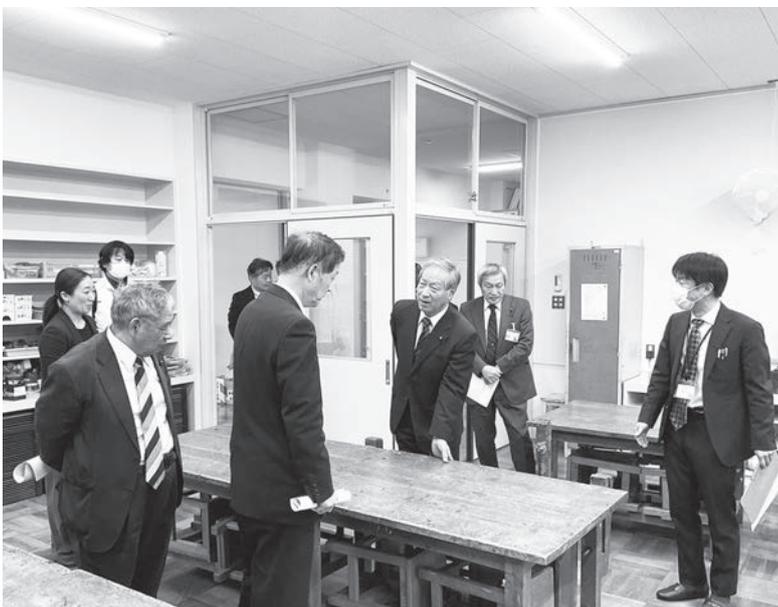
Q 健康マイレージ事業のデジタル化への移行について、今後の方針は。

A 令和7年度は、紙の健康マイレージも並行し、令和8年度以降は、徐々に規模を縮小し、最終的にはアプリのみの運用としたいと考えています。

Q 自主防災対策事業補助金について、以前は期限切れの非常食は、各区の判断で保存をお願いしていたと記憶しているが、現在はどうか。

A 基本的に非常食の期限は5年であり、期限切れの非常食をそのまま使用することは衛生管理の観点から不適切であるため、破棄することを周知しています。

Q 指定管理者の期間延長に伴い、町民に対して



明るい環境での授業を

の要請を指定管理者者はどのように感じ取っているのか。

A 新たに1年間の契約を締結するに当たり、指定管理者者に町が確認したところ、事業者の方も一緒にやりますという返事をいただきました。

説明、謝罪はないのか。
A 指定管理期間の延長について、広報おやま4月号への掲載を予定しています。

Q 町側からの1年延長
A 委員会終了後に、北郷小学校（北校舎・連絡通路）長寿命化改良工事箇所を視察しました。

賛

否

が分かれた議案

3月定例会

○ … 賛成 × … 反対 — … 議長は採決に加わりません ※ … 可否同数のため議長裁決

議案 番号	議案名	審議 結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
			石原 和美	池谷 元	平野 正紀	牧野 恵一	臼井 光昭	小林 千江子	室伏 辰彦	鈴木 豊	藺田 豊造	渡辺 悦郎	米山 千晴	岩田 治和	遠藤 豪
議案 第14号	令和6年度小山町一般会計 補正予算(第8号)	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	—
議案 第19号	令和6年度小山町宅地造成事業 特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第20号	令和6年度小山町木質バイオマス 発電事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	×	—
議案 第21号	令和6年度小山町小山PA周辺 開発事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第25号	小山町自家用有償旅客運送 自動車条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	—
議案 第26号	小山町国民健康保険税条例の 一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	—
議案 第27号	小山町手数料条例の一部を 改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	—
議案 第28号	小山町民いこいの家の設置及び管理に 関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—
修正動議	令和7年度小山町一般会計 予算【修正案】	否決	○	×	○	○	○	×	×	×	○	×	×	○	※
議案 第29号	令和7年度小山町一般会計予算	可決	×	○	×	×	×	○	○	○	×	○	○	×	※
議案 第30号	令和7年度小山町国民健康 保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	—
議案 第31号	令和7年度小山町育英奨学 資金特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	—
議案 第32号	令和7年度小山町後期高齢者 医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	—
議案 第34号	令和7年度小山町介護保険 特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	—
議案 第36号	令和7年度小山町木質バイオ マス発電事業特別会計予算	可決	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	×	—
議案 第37号	令和7年度小山町小山PA周辺 開発事業特別会計予算	可決	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	—

町政の
こころを問う!



インバウンドで賑わう須走口五合目

Q 町長の小山再稼働の進捗は
A 町の有利な点を生かし施策に全力で取り組みます

達山町政2年の節目で、小山再稼働の進捗について、その成果とこれからの戦略を伺う。

感できていない。

ただの通過点になって

いる感が否めないが、観

光客がもたらす地元への

何か目に見える施策、例

えば入湯税と関連した宿

泊税の導入の考えは。

A 町長

本町の各小学校のプー

ルは、建設から数十年を

経過し、老朽化が著しく

なっています。このような

状況の中、5つの小学校

の屋外プールを1つの屋内

温水プールに集約化し、

安全に安心して通年利用

できる利便性の高い施設

とし、併せて一般の皆様

も利用できる施設として

整備を進めていきます。

Q 町長の考えや、総合計画、予算編成に含まれていると思う。
我が町の得意分野とは何か。

A 町長

「得意分野」は、3つ挙げるとしたら、1つ目は良

質で豊富な水資源がある

こと、2つ目は緑豊かな

森林を抱えていること、

3つ目は静岡県最北東

端に位置し神奈川県と山

梨県に接していることで

す。

自然環境と地理的要因

のことでありますが、

元々持っている資産や条

件を生かすことにより、

周りより優れたことを行

うことができると考えてい

ます。

Q 本3月議会での補正予算でも受け取られる国か

らの方特例交付金、土木費国庫補助金、県からの土木費補助金のカットが及ぼす影響は大きいと思う。

A 町長

土木費の国庫補助金及び県補助金の減額は、事業規模の縮小や次年度以降に事業を先送りしている状況があることから全国市町長会等を通じて国に対して要望し続けていきます。

総合計画の実施計画及び予算編成においても、

国及び県などの補助金等を積極的に活用するよう

にしています。

Q 小山町の昨年の年間交流客は増えているが、地域経済への波及効果は実

Q 温水プール整備に関して、天候に左右されない水泳授業の実施と維持管理の効率化を図り、町民が利用できるプールとすることで町内のスポーツ環境を充実させ町民の健康増進に寄与できると思うが。

A 町長

本町の各小学校のプー

ルは、建設から数十年を

経過し、老朽化が著しく

なっています。このような

状況の中、5つの小学校

の屋外プールを1つの屋内

温水プールに集約化し、

安全に安心して通年利用

できる利便性の高い施設

とし、併せて一般の皆様

も利用できる施設として

YouTubeでこの代表質問の様子がご覧いただけます



米山 千晴
(新生会)



イメージ図

大学には若者が集まります



藺田 豊造
(町民本位の会)

YouTubeでこの
代表質問の様子が
ご覧いただけます



Q 町長の政治姿勢について

A 町民の皆様への信頼に応えるため、説明責任を果たしていききます

私たちの会は、常に町民の皆様と共にあることを本分としている。その上で事案に対する検証・総括・反省について伺う。

Q 説明責任のあり方は、どのような視点・観点からなされるのか。

A 町長
町民の皆様からの信任

に伝えるため、分かりやすく情報を伝え、意見や要望等に対し誠実に応えるよう引き続き努めていきます。

Q 財政出動の経済性・公益性・その効果が、どのように住民福祉の向上に役立っているのかの検証は。

A 町長

地方自治法第1条の2に基づき施策を進めています。また、事務を処理するに当たり、住民福祉

の増進に努め、最少の経費で最大の効果を挙げるように、経済性、公益性、効果を図っています。

Q 和栄への土地売買の判決をどう受け止めているのか。価格漏洩の責任は。

A 町長

裁判の判決は、令和4年4月1日に確定しており、判決の主文のとおりであると認識しています。

Q 会計年度任用職員の採用基準は。

A 町長

倫理的な基準は、地方公務員法の服務に関する規定に基づいており、各職種ごと担当課長等が面接を行い、10項目を評価して採用、不採用の判断をしています。

Q 医科大学誘致について

A 県の医療施策を注視していききます

産婦人科・小児科も無い町に安心して住める保障もない。

町の100年の計を考える時、先ず医・食・住の充足こそが第一と考える。

医科大学ができれば、町民がその医学における先進医療の恩恵を受けることも夢でなくなる。また、仕事の面においても高度医療器具等の開発もされ、新しい産業が生まれる。

Q 医科大学誘致について、町の所見をお伺いします。

A 町長

医科大学については、少子化の状況が続くことか

ら、文部科学省では、今後も医科系大学の新設は認めない方針であるものと認識しており、引き続き静岡県内の医療施策の方針や進め方を注視していきます。

提言がされている。

基本構想について、どう考えるのか。

A 町長

静岡県議会2月定例会の県知事所信表明において、「(仮称)医科大学院大学」の設置については、検討を先送りにする、と表明されたところであり、ですので、今後、県の医療施策を注視していききたいと考えています。

Q 県において「(仮称)医科大学院大学の設置に向けた基本構想」が令和6年2月に(仮称)医科大学院大学準備委員会から知事に



渡辺 悦郎

YouTubeでこの一般質問の様子がご覧いただけます



クアオルトで健康寿命を伸ばし、交流人口を増やそう

◎小中一貫校化について

◎A 学校は地域コミュニティの核となる存在です

全国的に小中一貫校化が進んでいる。町でも年間出生者数が2桁となり今後の方向性を示す時期に来ていると考える。

町は本年1月に開催された「小山町総合教育会議」において、地域に学校を残すために小中一貫校化を進めるとの方針を決定した。

育つものとしての常識や人格を形成していきます。小中一貫校化により、義務教育の9年間は、自分の生まれ育った地域で、大切に育てられることに大変重要な意義があると信じています。

来の人間像と地域との関わりは大変重要です。学校は地域コミュニティの核となる存在であり、学校と地域の関係は密接なつながりがあります。

◎教育長の教育理念は。

◎A 教育長

子どもたちは、小・中学校生活をとおして、同級生や先生方や地域の皆さん

のやさしさに触れることで、自分の足で通った学校に愛着を持ち、愛校心や郷土愛を育むだけでなく、それぞれの地域に

◎地域と学校のつながりについての考えは。

◎A 教育長

子どもたちの目指す将

予定は。5月21日の須走地区を皮切りに、中学校区ごと各地区で行います。

◎クアオルトの現状と今後について

◎A 新たな参加につながる取り組みの検討を進めます

町では、先進地上山市を参考として運動療法を取り入れた「クアオルト」を実施している。

住民の健康増進に寄与するだけでなく地域資源を活かした独自のプログラムとして観光に活用している。

歴史ある観光資源も豊富な小山町で新たなクアオルトの進め方が求められる。

◎既存のコース以外に取り組んでいることは。

◎A 住民福祉部長

森林ヨガなどのさまざまな体験ができるアクティビティウオーク等を実施しています。

◎通過型観光から滞在型観光への取り組みは。

◎A 商工観光課長

設立予定の地域DMOの活動の中で、リゾートホテル等の新たな観光資源と既存の事業を組み合わせた体験型プログラム等の開発に取り組んでいます。

◎町のクアオルトコースの参加者数は。

◎A 住民福祉部長

須走地区の参加人数はベーシックコースが39人、

ウオーキング＋1が38人、予約型が65人です。足柄地区はベーシックコースが47人、ウオーキング＋1が78人、予約型が57人です。

◎その参加者数は。

◎A 住民福祉部長

アクティビティウオークの参加者は140人で、参加者合計は466人です。



石原 和美

YouTubeでこの
一般質問の様子が
ご覧いただけます



沼津市のおくやみコーナー

Q おむつのサブスク導入について

A 導入に向け検討していきます

現在、こども園では、おむつに個々の名前を書き持参し、保育教諭が個別に管理している。一定金額を支払うことにより、おむつが園に届き、使いたいときに使えるようになり、保護者、保育教諭相互の負担軽減となるおむつのサブスク導入について伺う。

Q 今までにサブスクについて検討されたことは。

A 住民福祉部長
令和5年度から検討を始めています。

Q 町が考えるおむつのサブスクのメリット、デメリットは。

A 住民福祉部長
メリットは、おむつに記名をしたり持参する必要

がないことや園でのおむつの管理がシンプルになることです。デメリットは、おむつの保管場所の確保や補充業務が生じる問題、全員が利用しないと対応が複雑になってしまふことなどです。

Q 保護者向けのアンケート調査の実施時期は。

A ことも未来課長
4月から園児の入れ替わりもあることから、園

Q アンケート結果を踏まえ、いつまでに導入の判断を下すのか。

A ことも未来課長
令和8年度の新入園児申し込みが始まる8月までに、判断を行いたいと考えています。

Q 本庁舎一階の改修に合わせ、お悔みコーナー開設を A 設置について検討していきます

この度、約9000万円をかけ、本庁舎一階が改修された。新たなシステム導入のタイミングで死亡時の手続きが一か所で、短時間で済むお悔みコーナー開設について伺う。

について大切な点は。

A 住民福祉部長

親切で分かりやすい対応をすること、お客様を思いやる気持ちをもって接することが大切と考えます。

Q 書かない、迷わない、行かない窓口実現のために今までと変わった点は。

A 住民福祉部長
板、本庁、各支所、健康福祉会館を結ぶテレビ会議システムを導入するなど利便性の向上を図ります。

Q 死亡時の手続きを予約制にするメリット、デメリットとは。

A 住民福祉部長
メリットは事前の準備

Q 具体的にいつまでに、どの部署が進めるのか。

A 住民課長
今の段階ではスケジュールをお答えできませんが、住民課を中心に、関係部署と連携を図りながら進めます。

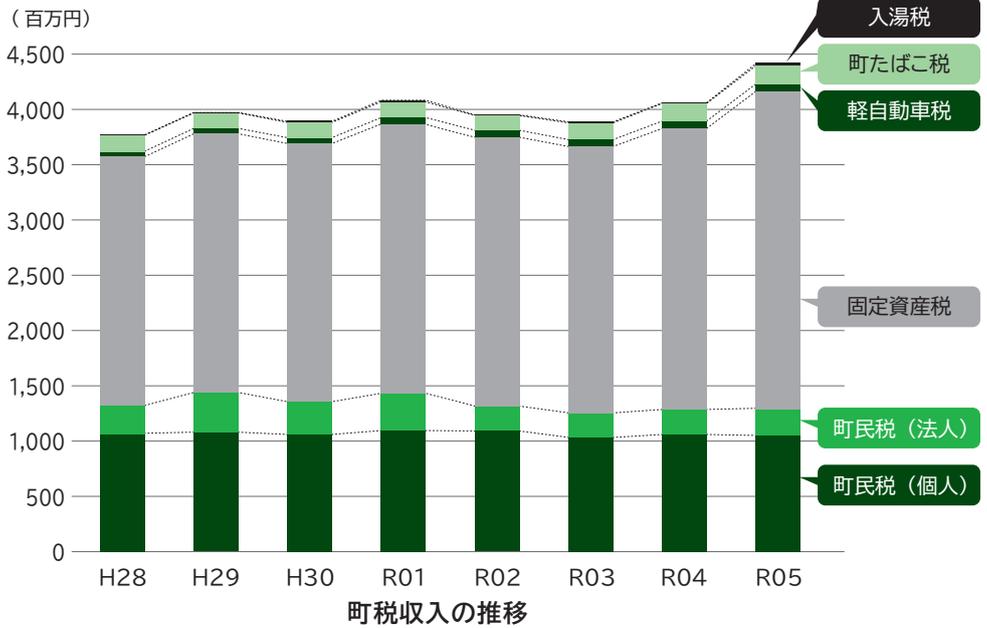
Q 窓口でのサービス向上

A 住民福祉部長
お客様が極力書かないで済む専用機器、自動案内等を搭載した総合案内



室伏 辰彦
(治政会)

YouTubeでこの
一般質問の様子が
ご覧いただけます



◎ 財政の見通しについて

▲ 持続可能な財政運営に努めます

小山町の財政状況を見ると、町税の税収は、令和3年度38億8768万8000円、令和4年度40億6278万6000円、令和5年度44億1598万8000円、3年間で5億2830万円増えている。

地方債現在高(特別会計を除く)は、令和3年度87億8251万8000円、令和4年度88億9703万6000円、令和5年度90億4397万7000円、3年間で2億6145万9000円増えている。

将来負担比率・実質公債費比率も少しではあるが高くなってきている。財政力指数は、令和3年度0.834、令和4年度0.842、令和5年度0.893となっている。次の点を伺う。

◎ 実質公債費比率を見る

と毎年度の公債費は、低めではあるが、少しずつ高くなってきている。今までの建設事業の町債の償還が原因である。

今後は地方債の借入高を減らす必要がある。償還計画を含め伺います。

▲ 企画総務部長

本町の令和5年度平均実質公債費比率は、10.3%と前年度比1.2%

の増となっています。

国は、令和3年度に交付税措置のある「公共施設等適正管理推進事業債」を作りました。本町でも施設の改修工事を行い、この地方債を積極的に活用したため、比率が増加しました。

償還計画については、令和7年度予算で償還元金を9億1200万6000円計上しました。今

後、大型事業を踏まえた公債費のピークを令和10年度の10億2000万円程度と見込んでいます。これらの大型事業が完了した後は、新規の地方債借入額を、5〜7億円程度に抑制して、令和15年度には、公債費を8億円程度になるように努めていきます。

◎ 長期行財政運営計画は

適宜見直しを検討するところ。見直しを検討しているのか。

また、企業誘致等による税収や、ふるさと納税の増額など、自主財源の確保に努め、物件費等の抑制や公共施設の適正管理などを行っていきます。その上で災害や減収などに備えて、財政調整基金の残高確保にも努めていきます。

◎ 長期行財政運営計画を

見ると基金残高が令和9年度に0円になる見込みとある。

0円にならないよう施策を考えているのか。

▲ 総務課長

令和7年度から令和9年度まで地方債借入の大きい事業がありますので、令和10年度以降、国・県の補助金・交付金等の活用を十分に検討するとともに、事業の優先順位を検討することで、起債の増加を招かない財政運営に努めます。

おやまライド

OyamaRIDE とは？

小山町および御殿場市全域で試験運行を開始する公共ライドシェアです。ライドシェアとは個人のドライバーが自家用車を利用して利用者を運ぶ新しい移動の形であり、スマートフォンアプリを通じて利用者とドライバーをマッチングします。予約状況によって他の利用者と乗り合いながらシステムが最適なルートを生成し、利便性の高い移動手段をご提供します。


スマホアプリから
簡単予約


今すぐ予約も
7日前から事前予約も


クレジットカードで
事前決済

安心してご利用いただくために...

- プロの運行管理会社がドライバーを面談・採用
- 全車ドライブレコーダー搭載&専用保険加入
- 運行前後にドライバーの健康・アルコールチェック
- 運行管理会社がリアルタイムで運行状況を監視



池谷 元
(治政会)

YouTubeでこの
一般質問の様子が
ご覧いただけます



新たな町民の足になるか期待大

◎ 誰もが、いつでも、行きたい場所に行ける町の実現

A 運用方法の確認や課題の洗い出し等を行います

誰もが、いつでも、行きたい場所に行ける町が実現すれば、子育て、教育、通勤通学、高齢者支援や障がい者支援など、あらゆる分野において利便性が向上する。

小山町では令和2年度からデマンドバスの運行を開始しました。利用者が多く、予約が取りづらい状況が続いている。デマンドバスの利用者を分散させるため、令和6年8月から町内5ルートを走る巡回バスの実証実験を行いました。利用者の分散は難しく、既存の仕組みと体制では、利用者の増加に対しデマンドバスの増車を行う必要がありますが、運転手不足により交通事業者での対応が難しいと聞いている。

町では新たに自家用車・一般ドライバーを活用した公共ライドシェアの導入を行うようですが、導入について伺う。

◎ 4月からの試験運行はどのような内容で行うのか。

A 企画政策課長

試験運行は、平日の午前8時から午後1時までを予定しており、町内発着を条件に、小山町・御殿場市全域でドアトドアの移動が可能となります。

運行車両は、軽自動車か普通車2〜3台の予定で、運賃はタクシー料金で、運賃はタクシー料金の8割とし、予約は専用アプリから行い、支払いはアプリ内で事前に登録したクレジットカードから行います。

◎ ドライバーに対する研修などは実施するのか。

その研修内容は。

A 企画政策課長

採用ドライバーは、勤務開始前に接遇面やシステム操作など運行に必要な最低限のマナー、知識の習得、国土交通大臣認定講習を受講していただきます。

また、各ドライバーの課題解決を図る定期研修を実施し、事故やクレーム等があった際には即時研修を実施する等、安全運転に必要な知識とスキルを身につけていただくためさまざまな研修の実施を想定しています。

◎ 事故を起こした時は、ドライバー自身の保険で対応するのか。

A 企画政策課長

運行事業者が公共ライドシェア専用の保険に加入し、サービス提供の時の事故等については、運行事業者が加入する保険から補償等を行います。

を使い、等級が下がるということはありません。

◎ ドライバーの確保は、どのように行うのか。

A 企画政策課長

運行事業者が地元求人媒体等を活用して、広く募集をかけていく予定です。現在、何人かの、ドライバーを希望するお声もいただいている状況です。

万が一ドライバーが見つからない場合でも、運行事業者が抱える人員の中から手配することになっていきます。

町の公共交通については、
こちらをご覧ください





鈴木 豊
(新生会)

YouTubeでこの一般質問の様子がご覧いただけます



空家を活用してリニューアルした店舗（音淵）

Q 空家の利活用の促進や特定空家などの解消は A 空家の利活用の促進と特定空家の解消に努めます

町は、空家対策計画を策定し、空家の利活用の促進や特定空家などの解消に努めてきた。その取り組みについて伺う。

進に努めていきます。

Q 直近5年間の取り組み及び件数に対してどのような実施をしてきたのか。

賃貸契約の締結に至っていません。

A 未来創造部長

特定空家の解消では、8件中6件の解消に努めました。また、不動産バンクの登録件数は48件、その内、24件が売買及び

Q 空家の利活用に関する助成は。

A 未来創造部長

自ら空家を取得し、リフォーム等を行う方に「空き家活用・流動化促進助成金」を、町内の賃貸住

Q 利活用できる空家が少ないが、その点の考えは。

宅等を所有する個人又は法人でリフォーム等を行う方に「民間賃貸住宅リフォーム助成金」を交付しています。

A 未来創造部長

土地及び建物所有者に「売りたい・貸したい不動産バンク」への登録を願ひし、町内不動産業者と連携し、空家利活用の促

Q 空家の解体及び撤去に対する補助金の見直しは。

A 未来創造部長

認定された特定空家には、令和7年4月から解体等に要した工事費の3分の1以内、限度額を30万円から60万円に引き上げます。

Q 都市計画の見直しと今後の町の都市計画事業は A 都市計画道路と線引きの見直しを進めます

都市計画並びに市街化調整区域や市街化区域の見直しを早急に実現する努力を促す。

Q 市街化調整区域や市街化区域の線引きの見直しは、現在どのように進めているのか。

Q 今後の都市計画事業について、町は新たにどのような事業を考えているのか。

A 都市基盤部長

都市計画道路路竹之下中島線の見直しと、これに関連する菅沼地内の谷戸林エリアの逆線引きについて県と協議しています。

A 都市基盤部長

菅沼谷戸地区土地区画整理事業の進捗と都市計画道路路竹之下中島線の事業化に向けて進めます。

Q 都市計画道路路竹之下中島線の一部区域の廃止と線形変更の見直しについて、どのような内容の見直しといつごろまでにするのか。

A 都市整備課長

路線北側区間の廃止と橋梁区間を含む南側区間の線形変更の都市計画決定を令和7年度内を目標に完了します。

Q 駿河小山駅前タウン構想の具体的な構想内容は。

A 町長

商業施設、集合住宅や複合施設など、町の交流拠点となるタウンセンターをPFI事業などの導入も視野に入れ、検討していきます。



設備が充実している御殿場市の「ふれあいプール玉穂」



平野 正紀

YouTubeでこの一般質問の様子がご覧いただけます



Q 町営温水プール建設についての町民アンケートの実施を A 屋内温水プールの進捗については議会に諮り進めていきます

学校の老朽化したプールを集約し、町民も利用可能な町営温水プール建設について、多くの町民が関心を持っているが、内容が分からないとの声を聞く。プールを利用しづらい人も多く、建設後の維持管理費が莫大で財政圧迫への不安の声が多い。

基本計画の内容と今後の進め方について、町民の皆様に分かりやすく質問する。

Q 教員の負担軽減という
が実際にそうなのか。

A 教育次長

教員の負担軽減について、現状でプールの維持・管理や安全面の配慮においては、多大な負担がかかっています。町民プールが設置され、施設の維持・管理や監視員等プールの安全面での補助的役割を担ってもらうことで、負担軽減になると考えています。

Q 授業カリキュラムや、
授業時数の確保に影響は
ないか。

A 教育次長

水泳の授業時数について

いきます。

Q 収支費用計上は、具体的
な施設設備等を固めて
算定すべきではないか。

A 企画総務部長

現在は基本計画の段階であるため、同規模プールの実績を参考にし、概算費用として捉えています。

Q 熱源に木質ペレットを
利用する計画はあるか。

A 企画総務部長

熱源設備については、現在の要求水準書では空気熱源ヒートポンプチャラー（空気中のエネルギーを利用するもの）と定めています。

Q なぜ、起債の償還額や
土地借上げ料を含む町の
実質的な負担額を提示し
ないのか。

A 企画総務部長

基本計画の時点では、賃借地については地権者と交渉中であること、起

債の利息分については、利率も不明であるため基本計画には記載をしませんでした。

Q どのように町民との合
意形成を図るのか。造成
や排水路、施設本體工事
の着手はいつか。

A 企画総務部長

屋内温水プール整備事業に関しては、広報誌などにより、周知していきたいと考えています。

事業は当初予算の継続費で説明したとおり、工事自体は令和8年度からを想定しています。

Q 町民の意見を確認する
ための町民アンケートを
直ちに実施すべきである。

A 企画総務部長

これまで町民の皆様にも御参加いただき、意見交換会を3回、説明会を1回行い、基本計画や募集要項等に皆さんの意見を反映させていただきました。



小林 千江子
(新生会)

YouTubeでこの
一般質問の様子が
ご覧いただけます



新たに御殿場市で設けられた支援センターの様子
子どもたちがのびのびと自由に活動できる場所が用意されています

Q 学校へ通えない子どもたちへの支援の拡充を A 保護者同士の情報交換や支援体制の充実に努めます

全国的に不登校児童生徒の増加が見られる中、小山町でもその傾向が続いており、令和4年度の不登校児童生徒数は、小学生で約13名、中学生で約22名にのぼる。現在ではそれ以上に増加している状況である。

Q 不特定多数の人が利用する総合文化会館ではなく、独立した支援センターの開設が必要と考えるが。

A 教育次長

「金太郎教室」が不登校児童生徒の適応教室として設置されており、子ども

が学校に復帰できるなどの成果が上がっています。今後は、不登校の児童生徒の状況がさまざまであることも踏まえ、小山町にはどのような機能を持ったセンターが望ましいのかなど検討していきます。

Q 不登校児童を持つ保護者が複雑な心の想いを吐露し、情報の共有がでる場が必要とを感じるが。

A 教育次長

各校の相談体制の充実や懇談会・面談など情報交換や支援方法を工夫して対応しています。個々の状況やニーズに応じて柔軟に対応し、今後も引き続き情報交換や支援体制の充実に努めていきます。

Q 国のアウトリーチ支援補助などを活用し、誰一人取り残されない学びの保障に向けた取り組みを強化するべきと考えるが。

A 学校教育課長

アウトリーチ支援補助は、文部科学省等が関係する国庫補助金であることから、今後、国・県からの情報を注視し、研究、対応していきます。

Q 地域猫活動の周知強化を

A 広報おやま等で特集を組み周知活動に努めます

人々にとって最も身近な動物であるとともに、その愛らしい姿からペットとしても人気の高い猫。しかし、近年では人間の身勝手な事情により無責任に野に放たれた「野良猫」を発端としたさまざまな問題が発生している。

町は年間60件ほどの捕獲を行い、地域猫活動としてTNR（捕獲・避妊去勢・元いた場所へ戻す）が実施されている。

Q 地域猫活動への住民の理解やボランティアの育成が求められるが。

A 企画総務部長

広報おやまやホームページ等を活用した町民への広報活動やボランティア

アの募集を行いながら、町民の地域猫活動に対する理解向上に努めます。

Q 猫の譲渡など町の施策は。

A くらし環境課長

動物の授受等の情報交換できる伝言板や地域猫活動全般の情報発信を町のホームページや町公式ラインも活用し実施していきます。

Q 地域猫活動の財源確保にクラウドファンディングの活用は。

A くらし環境課長

保護活動をするには、エサ代等多くの経費がかかることから、財源確保として、また、地域猫活動への関心を持ってもらうという意味においても、今後の状況に応じて検討していきます。



白井 光昭
(町民本位の会)

YouTubeでこの
一般質問の様子が
ご覧いただけます



イメージ図

今日の工事が明日の命を守る。今こそスピードアップ!! 地震災害に備えた確かな一歩

◎能登半島地震の教訓と水道事業の防災対策について

▲大規模災害への準備を途切れることなく行います

2024年1月の能登半島地震では、水道供給の復旧に半年を要し、住民生活に深刻な影響を与えました。水道などの生活インフラの崩壊は地域の存続に関わる重大な問題です。

小山町にとって最も懸念される災害は、相模トラフを震源とする地震及び富士山噴火です。1923年の関東大震災(M7.9)では、小山町も大きな被害を受けました。相模トラフを震源とするM7程度の地震の発生確率は今後30年以内で約70%と予測されており、最大限の警戒が必要です。

そこで、防災対策全般と特に水道事業における取り組みについて伺う。

◎能登半島地震の教訓を踏まえ、令和6年度での新たな防災対策の実施内容と令和7年度以降の予定は。

▲危機管理局長

新たな防災対策として、出前講座や防災教室では、地震発生直後に身を守る自助意識の高揚や避難者自らが避難所を運営する意識の醸成を重点的に実施しました。また、

◎御殿場線下に埋設されている5か所の基幹送水管のサヤ管も含めた老朽化度や耐震性、定期点検は。

▲上下水道課長

平成28年度に全箇所健全性を確認しており、3か所の配水管については現在のところ法定耐用年数を経過していない状況です。しかし、平成28年以降は点検を実施できていないため、できるだけ早期に点検を実施したいと考えています。

地震発生直後の被害、火災を最小限に抑えるため、地震後の通電火災を防ぐ感震ブレーカー設置補助事業の創設、避難所の不足解消として、町内民間研修施設3か所と3つのゴルフ場を新たに一時避難地としました。

令和7年度は、トイレカーを導入し、災害時のトイレ環境の向上を図ります。

◎小山町水道事業経営戦略は持続可能性を確保するため、10年間の計画として策定されました。しかし、予測した人口推計と現人口との乖離が急激に拡大し、給水収益の悪化が推測されます。特に耐震化のため多額の投資が必要です。水道料金の改定方針は。

▲上下水道課長

今年度、水道事業経営戦略の改定を行い、その中で5年ごとの料金改定を想定した財政シミュレーションを行っています。料金改定については、毎年度の決算による業務実績を考慮し、社会情勢の変化等を踏まえながら再検討を行い、決定していきたいと考えています。

◎水道事業経営戦略における企業債の依存度は。

▲上下水道課長

企業債の依存度を示す指標として企業債残高対給水収益比率があり、本町の数値目標は300%以下に設定しています。令和5年度末時点の類似団体における全国平均値400.21%に対し、本町は273.47%となっています。

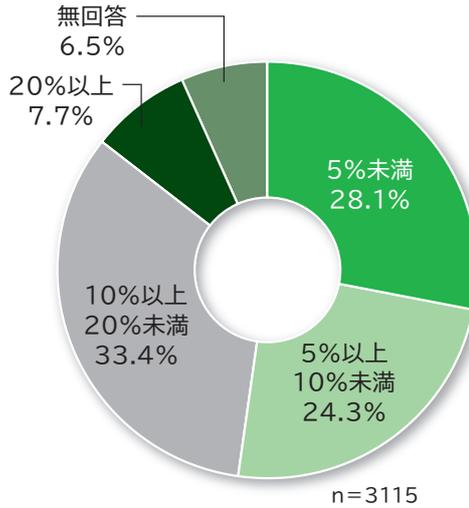


岩田 治和
(町民本位の会)

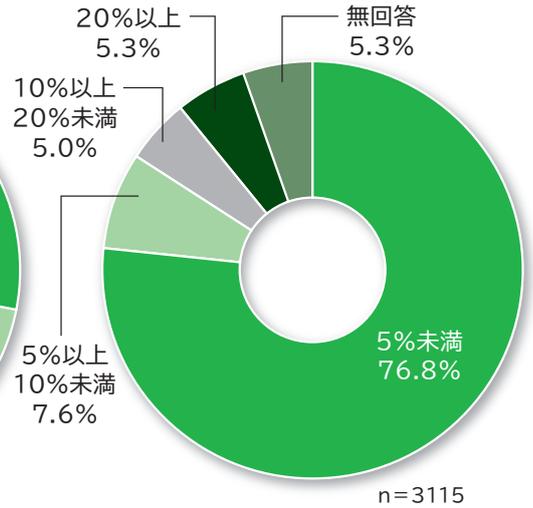
YouTubeでこの一般質問の様子がご覧いただけます



▼ 高ストレス者の場合



▼ 面接指導を申し出る者の割合



出典：厚生労働省 ストレスチェック制度の効果的な実施と活用に向けて（令和4年3月）

Q 町職員の職場環境は良好か
A 働きやすい職場環境の整備や相談体制の充実に努めます

昨年末にかけ1か月の間に、町職員によるストーカー行為により停職6か月の処分や、町の指定管理者選定における職務怠慢による契約不履行などネガティブな事例が発生している。

また、令和6年9月の定例議会の一般質問では、本町の職員給与は県内でも他の自治体に比べ高額であることが指摘され、さらに、令和6年12月の定例議会の一般質問では、本町の人口当たりの職員数が近隣の市町に比べ2倍程度多いことが指摘されている。さらに、メンタルヘルスに関わる長期休職者も多いと聞いている。

住民目線からも、町の労働環境など見直すことや管理者の責任所在についての声もささやかれている。

そこで次の点について伺う。

Q 職員の労働環境は適正であるのか。精神衛生についての教育はできているのか。

A 企画総務部長

職員のメンタルヘルスに関しては、毎年、全職員を対象にストレスチェックを実施し、ストレス度が高い職員には、個別に産業医との面談を促してい

ます。また、臨床心理士によるメンタルヘルス相談や職員研修、所属長による面談を実施しています。今後も、より一層、働きやすい職場環境の整備や相談体制の充実に努めます。

Q これまでに実施した職場環境の見直し事例は。

Q 今後の行政改革の方向性をどのように考えているのか。

A 企画総務部長

具体的には、行政運営の効率化、人材への積極投資、行財政運営の強化の3つの基本目標を掲げ、それぞれに方策を立て、

A 企画総務部長

毎年、事務事業評価や職員配置に係るヒアリングを行い、業務量に合った適正な人員配置に努めています。また、ワークライフバランスを向上させるため、年次有給休暇の積極的な取得を職員に呼びかけており、平均取得日数は、目標である10日以上を2年連続で達成しています。特に子育て世代の職員が休暇を取得しやすいように本年度当初に規則を改正し、特別休暇の拡充を行いました。

行政改革を推進していきます。

第11次行政改革大綱の主な取り組みとしては、自治体DXとして、役場窓口業務、学校支援システムや教職員の事務などの効率化を進めていきます。

地域DXでは、デジタル地域通貨の活用などを掲げています。

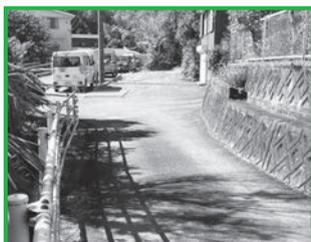
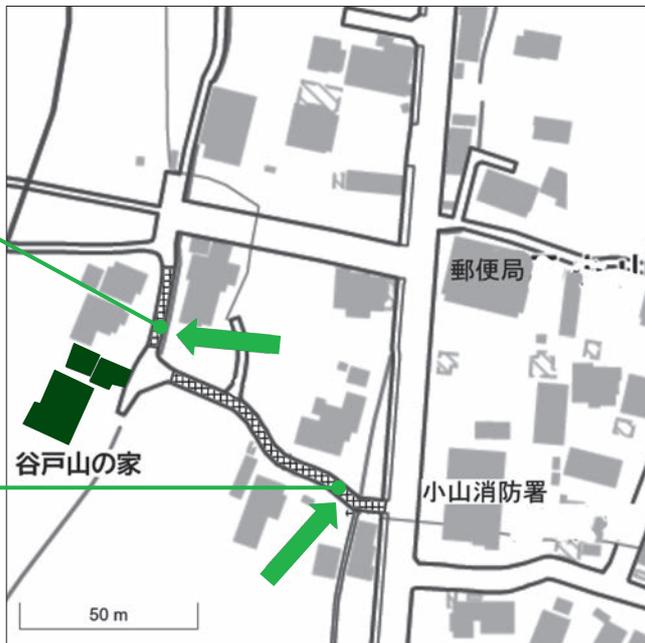
職員の資質向上と意識改革として研修を充実させ、職員アンケート調査により意識調査などの実施を予定しています。

歳入の確保による安定した財政基盤の確立では、企業誘致や移住定住施策による税財源の確保、ふるさと納税の強化などを掲げています。



牧野 恵一
(町民本位の会)

YouTubeでこの
一般質問の様子が
ご覧いただけます



乗用車の行き違いが
できない狭い道路です



消防署側からの進入路
乗用車1台がやっと

Q 町長の再稼働と温水プール計画 A 町民のための施策を各種法令、計画に基づき実施しています

町長は再稼働と称して不十分な制度設計のままに事業を進めてきた。

温水プールという課題を前に、再稼働の問題点を質す。

ない改修をしたのは、税金のバラマキではないか。

総務課長

役場庁舎等管理計画で、庁舎の大規模改修は、社会情勢等を見ながら進めていくとしています。

外プールを集約化し、学校の授業に利用するものであり、プールの建設は町の学校施設整備の一環として、当然の責務と考えています。

この度の改修は「書かない窓口」の実現や、「授乳室」や「キッズスペース」を設置し、住民サービスの向上を図ること、職員の職務環境を整えるため実施しました。

場所へ造るのは良識を欠いているのではないか。

未来創造部長

緊急時では、過去に救急車で救急搬送しており、火災時の消防車両の進入や水利の確保も可能なため、建設場所も問題がないものと考えています。

温水プールは頻繁に修繕、機械の更新等が必要になり、莫大な町民負担が見込まれる。

町民の声も聞かずに大事業に着手し、町財政の非常事態を招いた際の行政責任についてはどう考えているのか。

町長

屋内温水プール設置の一番の目的は、小学校屋

不正な会計処理ではないか。

総務課長

宅地造成事業特別会計から木質バイオマス発電事業特別会計への繰入は、地方財政法第6条の規定に基づき実施しました。

1億円を投じた多世代交流施設・谷戸山の家は幅3メートル程度の道路しかない。

多数の町民が集う公共施設を緊急時の不安がある

今年度、役場一階の改修と備品購入に1億円を投じた。しかし、令和5年に作成した役場庁舎等管理計画では、本庁舎は耐震性が無いので大規模改修が早急に必要だ。それまでは無駄な改修はしないという方針であった。

2年前に示した方針を無視して耐震工事を含ま

令和6年度 小山町議会報告会

ご参加ありがとうございました

開かれた議会を目指し、町民と議員とが情報、意見等を交換するため議会報告会を令和7年2月7日に総合文化会館 菜の花ホールを会場に開催しました。
皆様からいただいた貴重なご意見を大切にまいります。



【報告の様子】



【意見交換の様子】

子ども・子育てについて（意見交換会）でのご意見

今の小山町に欲しいもの、足りないことは？

- ・ 子供が遊べる公園がない。
- ・ 地域の文化や伝統を継承して欲しい。
- ・ 女性が安心して働ける環境。
- ・ お母さんが自分の時間を自由に過ごせる場所。
- ・ 町民と町との情報が共有されていない。



どうすれば未来の小山町がよくなるのか？

- ・ 遊べる施設や学校。
- ・ 都会では味わえない、自然とのふれあえる強みをアピールする。
- ・ 色々な、面白い大人と出会い、話をする場所。
- ・ 魅力的な働く場所。

その他

- ・ 教育や学びが選択できる事。
- ・ ICTを使いこなせる学校側の体制・スキル・マンパワーの強化。
- ・ 自己選択を繰り返し成長していける環境。

議会報告会の詳しい内容は「町のホームページ」をご覧ください ▶





第16回

わたしのベストスポット

議員本人が町民の皆様にお勧めしたい、町内のここぞと思う場所を紹介します。

竹之下古戦場碑

「延元の乱」(えんげんのらん)とは、1335年(建武2年)から1338年(延元3年)まで、後醍醐天皇を中心とする建武政権と、足利尊氏を支持する武士達との間で起こった動乱です。戦いは足利尊氏が、征夷大将軍に就任して室町幕府を開くまで続き、朝廷が南朝と北朝に分かれて争った「南北朝時代」到来の要因にもなりました。この乱の緒戦となったのが「竹之下合戦」です。

太平記には「箱根竹下合戦」と記されており、後醍醐天皇が建武政権に反旗を翻した足利尊氏を討つために新田義貞を派遣したが失敗し、建武政権崩壊の第一幕となった両者の戦いが現在の竹之下周辺で行われました。陣場、戦ヶ入り、千束橋、有闘坂、矢台、



(記 平野 正紀)

興雲寺、合土ヶ久保、渡り上り、遠見などの地名の場所が、多くはその地名に付会して伝説地となっています。祖先の苦難を偲び、足柄シニアクラブ松の会が建てたこの石碑は、以前は足柄コミセン前にありましたが、戦返り線に近い獄之下宮の敷地内に移設されました。皆さんも、遙か歴史に思いを馳せて足を運んでみてはいかがでしょうか。

議員研修報告

〔駿東郡町議会議長会 全議員研修〕

於 小山町総合文化会館

1月29日駿東郡町議会議長会全議員研修が、小山町総合文化会館菜の花ホールで行われました。今年も、一般社団法人地方公共団体政策支援機構 上席研究員 長内紳悟氏を講師に招き、「議会DX(デジタルトランスフォーメーション)について」の研修が行われました。



3町の議員が一堂に会する

近年、総務省の自治体DX推進計画に則り、行政手続等のオンライン化の推進や行政システムの標準化、共通化が行われています。また、全国的に、人口減に伴い労働力の確保から女性活躍や生涯現役の労働



データの見方を学ぶ

そのためには、行政側の提出するデータだけではなく、議会として多くのデータを集め考察することが重要と締められました。

(記 岩田 治和)

6月定例会の開催予定

- 6月5日(木) 開会
 - 6月10日(火) 一般質問
 - 6月11日(水) 一般質問(予備日)
 - 6月13日(金) 総務建設委員会
 - 6月16日(月) 文教厚生委員会
 - 6月20日(金) 閉会
- 委員長報告・討論・採決等
- いずれも、開会時間は10時の予定です。
- 決定次第、無線放送等でお知らせします。

議事を傍聴してみませんか

本会議は、議場内にある傍聴席で傍聴することができます。

傍聴を希望される方は、会議の当日に、傍聴席入口で、住所・氏名を書いてから傍聴ができます。

傍聴の定員は29名です。

編集後記

3月定例会も予算が承認され閉会し、町もようやく再稼働に向けて動き出します。我々議員も任期が半分となり、これから更に進む少子高齢化や各地域をどのように盛り上げていくのか? 課題は多いですが、積極的に取り組んでまいります。

4月、町の新たな移動手段として公共ライドシエアの試験運行が行われます。町民の移動手段として誰もが行きたい場所に行ける公共ライドシエアに期待しています。

今回の号をもって編集メンバーが変わります。新たな議会だよりにご期待ください。

(記 池谷 元)

《編集委員》

委員長	渡辺 悦郎
副委員長	小林千江子
委員	池谷 元
委員	平野 正紀
委員	白井 光昭
委員	岩田 治和